

VI 教師の研修

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	外部評価委員のコメント
授業実践力向上のために教職員研修が活発に行われている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	各学級でタブレットや電子黒板が効果的に活用されていた。日々の教職員の研修の成果だと思う。しかし、現状に満足せずに、さらなる向上を期待している。また、算数科研究の4年目の成果が、他教科でも現れることも期待している。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期（→年度）】			
	<p>①今年度は算数科研究の4年目である。これまでの取組を通して、子どもたちは授業の流れ「有浦スタイル」が身に付き、見直しをもって授業に臨み、「自分の考え」をもつようになってきた。しかし、自信をもって表現すること、子ども同士で伝え合うことに消極的な子どもも少なくない。こうした現状を踏まえ、今年度は「伝え合う力＝仲間との関わりの中で、互いの立場や考えを尊重し、言語を通して正確に理解したり適切に表現したりする力」を高める授業づくりに取り組んでいる。「伝える力」を鍛えるための教科を教師一人一人が決め、その教科の学習を通して子どもの「伝え合う力」を鍛えている。そして、その鍛えた「伝え合う力」を算数の学び合いへと生かしている。</p> <p>②教師全員が共通理解して研究を進めるために、一人一研究授業に取り組んでいる。学団部で指導案検討会を行ったり、職員全員で研究を行ったりして研修を深めている。授業研究会は、教師一人一人が自分の意見を持ち、自由に話し合う「ワイガヤ研究会」である。研究会で学んだことを次の日の授業から生かそうと、活発な意見が交わされている。前期は指定訪問、校内研究会を2回行い、研究を重ねてきた。</p> <p>③6月には、世田谷区教員訪問、岡山県教員視察、7月には東北六州市町村連合会研修会が本校で行われ、県外の先生方や教育委員の方々にも授業を参観していただいた。特に東北六県研修会では、40人の教育委員を受け入れ、全ての学級で公開授業、5つの部会でのワークショップを行い、活発な協議が行われた。</p> <p>④夏休みには、「課題づくり」「学び方」について校内研修を行った。子どもの集団作りから学び合いについて、授業改善のポイントについて、研修を受けた。また、子どもたちへも「学びのオリエンテーション」を開き、各学年に応じた指導を行った。</p> <p>〈後期の取組〉</p> <p>①夏休みに行った研修会を受け、「伝え合う力」の育成に励んでいく。すべての教育活動において「言語活動の充実」を図ることができるよう、オリエンテーションで確認をした「反応」ができるように指導の充実を図る。</p> <p>②全ての学級に電子黒板が配置された。今まで活用してきたロイロノートや実物投影機もこの電子黒板を使うとすぐに活用することができる。後期はねらい達成のために、ICTを有効活用していきたい。</p>			
【年度（→次年度）】				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
13 指導力の向上	(14) 授業改善	子どもの思考の流れを意識した授業の実践	3	
		学び合いの充実を目指した取組		
		学び合いをファシリテートする力の向上		
14 研修の充実と活用	(15) 校内及び自己のテーマに即した実践的研修の充実	選択教科の研究と一人一研究授業の実施・授業改善	3	

有浦スタイルを基にした板書・ノート

「課題づくり」研修会の様子

大館市立有浦小学校 研修部

有浦研

職員も有浦プライド！

R4.4.17(月) NO.1

板書、ノートの書き方です。算数や社会等では、黒板も子どもたちのノートも課題が左上、まとめが右上となります。



学びのオリエンテーションの様子

算数ノート書き方見本

4/18(火)

① 分数×整数はどのように計算すればよいか。

① 1 dl で、板を $\frac{3}{7}$ 道動かせるペンキがあります。このペンキを 2 dl では、板を何道動かせるか。

しき $\frac{3}{7} \times 2$

② 数直線 図 計算式
③ 線分図 言葉(説明) グラフ

ポイント

- ①自分の選んだ方法で、答えをめざす！
- ②時間は5〜7分しかない。とちゅうまででもあきらめず取り組む。
- ③できたら他の方法でも挑戦する。または、できた人どうして交流する。

4/18(火)

② 分数×整数は~すればよいか。

ポイント

- ①学び合いで出てきた友達の考えや、心が動いたことを短くメモ！
例: 同じ、ちがひ、分類、理由(根拠)なるほど、発見、疑問、結論
- ②友達の話を聞きながら書いてもよいが、先生がくれた時間でササッと書く。
- ③どう書くかで、ノートづくりの美力が試される！

ポイント

- ①まとめを使って、問題を正確にとく。ここでレベルUP!
- ②プリントの場合は、曲がらずにはる。

ポイント 振り返りは、早なる感想ではない！
授業に主体的に関われば、どんどん書ける！

おかったこと、解決のしかた
自分の変化・成長、学びのつながり
新たな疑問...



子どもたちに使わせたい
学び合いで発言をつなぐ言葉

「学びのオリエンテーション」子どもの書いた振り返りより

学びのオリエンテーションの振り返り

今日はみなさんに、「ノベルタイムで発言をつなげるために」や「ノベルタイムで付けた力を次につなげるには」について、お話ししました。そこから自分で感じたことを書いてみてください。

※ みんなが書いてくれたことは、いろいろな研究会で使わせてもらいます。

私は今までのノベルタイムで、自分から発言したことが多く、今日も発表ができた人々と仲のいい人たちが多かった。これからも発表を頑張りたいと思えました。また、団結力や、チームワークが授業でも大切。いろいろな人があったので、みんなと仲のいい人々と仲のいい人から仲のいい人になりたいです。

6年 []

3人がいや途中が学びのスタートにはこれからね!

のべるカード	
発言をつなぐための言葉の例	つなぐ力
⑩ まとめる〜。つまり〜ということですね。みんなの考えから〜。	卒業までにクリア! 統合 結論
⑨ 課題からされているので〜にもとします。	修正
⑧ どうして、〜になるのだろう。	疑問
⑦ 私は〜と考えていましたが、〇〇さんの考えを聞いて〜わかりました。私が言いたかったのはそれです。	納得/なるほど 発見
⑥ 〇〇さんに質問ですが、〜。	質問
⑤ そのわけは〜。なぜなら〜。	理由・根拠
④ 〇〇と〇〇は、仲間です。	分類・関連付け
③ 〇〇さんに付け足します。他の言い方で言うと〜。	付け足し
② 〜とちがいます。でも〜。	ちがひ・反論
① 〜と同じです。	同じ・にている